

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	5 子ども・教育
----	----------

評価責任者	所属	子ども未来局 青少年育成課
	氏名	課長 金丸 貴之

政策	3 地域社会や世界で力を発揮できる人材を育成します
----	---------------------------

施策	1 自己有用感を持ち、社会で力を発揮できる若者の育成
----	----------------------------

施策の目的	地域社会や世界で力を発揮できる人材を育成するために、子ども・若者自身が自己有用感を持ち、社会で力を発揮していくことができるよう育成に取り組みます。そのため、家庭、学校、地域、青少年育成団体などと連携し、子ども・若者の成長に応じた豊かな体験・活動の場や学習の機会を提供し、子ども・若者の成長を支援していきます。
-------	--

（1）総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	成果指標である「住んでいる地域の行事に参加している児童・生徒の割合」「自分にはよいところがあると思う児童・生徒の割合」については、それぞれ目標を達成できた。また、指標以外でも、「青少年団体の活動参加者数」「各地域青少年健全育成大会の開催」について、ほぼ例年どおり（コロナの影響除く。）の成果を成果を上げることができた。主要事業についても、青少年の自己有用感向上に必要な「地域行事への参加意欲」「地域への愛着」を培うための取組が着実に実施された。以上のことから、施策の目的を概ね達成できたものと判断し、総合評価は「A」とした。
	令和2年度	—	理由	—
	令和3年度	—	理由	—
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

（2）成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
		住んでいる地域の行事に参加している児童・生徒の割合（行事参加の有無）	小61.1% 中58.5% (H30)	1	小64.0% 中62.1%	小66.6% 中64.3%	小104.0% 中103.5%	a
2				小64.0% 中62.1%	—	—	—	
3				小64.0% 中62.1%	—	—	—	
4				小64.0% 中62.1%	—	—	—	
自分にはよいところがあると思う児童・生徒の割合（自己肯定感）		小87.1% 中80.2% (H30)	1	小87.1% 中80.2%	小84.2% 中75.8%	小96.6% 中94.5%	a	
			2	小87.1% 中80.2%	—	—	—	
			3	小87.1% 中80.2%	—	—	—	
			4	小87.1% 中80.2%	—	—	—	
			1					
			2					
			3					
			4					

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

・青少年団体（子ども会、ボーイスカウト、ガールスカウト、静岡市青年団連絡協議会、少年教室）の活動参加者数 10,026人
 ・各地域青少年健全育成大会の開催地区数 45地区

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
青少年・乳児ふれあい促進事業	学校や関係機関等の協力を得て、中学生が乳児とその保護者と交流し、触れ合える場を提供 ・児童館11館で18回実施 ・参加者数：2,129人（親・赤ちゃん・中学生） ※予算決算の記載は全体事業費であり本事業費はそのうちの一部	3	1	226,842	0	226,816	1.0	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
静岡市成人式開催事業	静岡市成人式実行委員会との共催による「静岡市成人式」の開催 ・実行委員数：19名 ・式典参加者：3,356名（出席率51.4%）	1	1	4,733	0	4,642	0.8	0.0	0.5	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
わかもののみち推進事業	若者を対象に、地域への愛着や自己有用感を高めるとともにシチズンシップを育む機会を提供するため、高校生まちづくりスクールを開催 ・講座実施回数：6回 ・自分が社会のために何かできるという実感を得られた参加者100%	2	1	730	0	715	0.4	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。
 ※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない）

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	①（成人式）一層の参加率向上（会場への入場）を目指す。 ②（わかもののみち）一層の参加者増を目指す。	①新成人にとって魅力あるイベントとするよう企画検討を行う。R2年度は会場変更が予定されているため、より参加（入場）しやすい会場検討を行う。 ②高校生にとって参加しやすい日程調整を行う。学校訪問による周知・PRの拡大に努める。
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	5 子ども・教育
----	----------

政策	3 地域社会や世界で力を発揮できる人材を育成します
----	---------------------------

施策	2 グローバルに活躍する人材の育成
----	-------------------

施策の目的	今後、2020年に東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、グローバル化が一層進展していくことが想定されます。静岡市では、グローバル化に対応した教育を実施し、自信をもって異なる文化の人とのコミュニケーションをとることができ、地元への愛情をもちながら将来的には国際的に活躍できる人材を育成します。
-------	---

評価責任者	所属	教育局 学校教育課
	氏名	課長 見城 秀明

（1）総合評価

総合評価	令和元年度	B：施策の目的があまり達成されていない。	理由	成果指標における実績値が前年度に比べ若干向上したものの、目標値を大幅に下回る結果となった。しかし、教職員の長期海外派遣による指導者の英語力や資質の向上を図るとともに、学校へのALTの派遣やイングリッシュキャンプなどの取組により、児童生徒の英語力や異文化理解の向上を図ったことを踏まえ、総合的に判断したため。
	令和2年度	—	理由	—
	令和3年度	—	理由	—
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。

※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

（2）成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（％）	評価	目標値の算出根拠
	中学校卒業までに、英語能力に関する外部試験を受験したことがある生徒の割合	24.0% (H30)	1	44.8%以上	25.0%	55.8%	d	
2			全国平均以上	—	—	—		
3			全国平均以上	—	—	—		
4			全国平均以上	—	—	—		
指標以外の	・中学校で、生徒がALTと授業以外の日常場面で気楽に英語を話す場として、イングリッシュカフェを実施し、学校へのアンケート調査を行ったところ、約9割の学校が、「英語に触れる機会を充実させることができた」・「英語でのコミュニケーションを楽しむ姿が見られた」と回答していることから、自信をもって英語でコミュニケーションができる人材の育成を図ることができた。 ・平成29年度に作成したしずおか学と関連した静岡市独自の英語教材を、令和元年度においても、各小中学校で活用することにより、身近な題材を通して英語への親しみを深めることにつながっている。	1						
		2						
		3						
		4						

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
英語を活用したコミュニケーション力向上プロジェクト (学校教育課)	①ALTの招致(45名を各中学校及び高等学校へ配置) ②担任教員とALTによる英語授業の実施 ③静岡市独自英語教材の作成 ④英語に触れる機会の拡充(イングリッシュキャンプ、イングリッシュカフェ及びイングリッシュデイの実施)	1	1	231,655	0	226,028	2.0	0.5	0.3	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
教職員研修事業(教職員海外派遣研修) (教育センター)	①姉妹都市であるシェルビービル市に教員を派遣 →英会話能力の向上 →国際的視野を身に付けさせ教員の資質向上 【スケジュール】 1～2月 派遣候補者決定 3月 派遣者決定 4～6月 事前研修(日本語教育研修会) 8～3月 シェルビービル市派遣	2	1	1,090	0	1,040	1.0	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
しずおか学の推進(郷土教育の推進)(学校教育課)	①社会科副読本・地図やしずおか学-Bookの改訂、配布 ②しずおか学副読本の改訂、配布	3	1	4,130	0	4,120	0.5	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例(◎:計画より進んでいる、○:計画どおり進んでいる、△:計画より遅れている、-:計画上実施時期が到来していない)

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	英語検定受験者数の増加及び授業以外での英語に接する機会の拡充が必要である。	保護者へ啓蒙や周知を行う。また、イングリッシュデイの実施により機会を拡充していく。
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	5 子ども・教育
----	----------

政策	3 地域社会や世界で力を発揮できる人材を育成します
----	---------------------------

施策	3 未来へ向けた教育環境の整備
----	-----------------

施策の目的
 人工知能・ロボット技術の発展により今は存在しない仕事生まれるなど、予測できない社会の到来が言われています。そのような社会を生き抜く子どもたちの確かな力（学力・資質・能力）を伸ばし、本市さらには我が国の未来を担う人材として育成するために、小中一貫教育、小・中学校における教育用ICTの活用、校務支援システムや高等教育の在り方の検討など、「未来に向けた教育環境の整備」を進めます。

評価責任者	所属	教育局 教育総務課
	氏名	課長 西島 弘道

（1）総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	両河内地区の小中学校統合について地元の合意形成が図られたことから、経営会議に付議し、令和4年度の施設一体型小中一貫校の開校が決定した。また、ICTを活用した学校間交流やALTとの遠隔授業等の実施により、中山間地の教育環境の充実が図られた。また、ICT支援員による要請訪問を実施することにより、授業における教員のICT活用が増えた。
	令和2年度	—	理由	—
	令和3年度	—	理由	—
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

（2）成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（％）	評価	目標値の算出根拠
	成果指標	教員が大型提示装置等のICTを活用した授業を1クラス当たり1回/週以上行った学校の割合	43.1% (小) 51.2% (中)	1	小・中ともに70%	小 71.1% 中 57.2%	小 101.6% 中 81.7%	b
2				小・中ともに70%	—	—	—	
3				小・中ともに70%	—	—	—	
4				小・中ともに70%	—	—	—	
成果指標			1					
			2					
			3					
			4					
指標成果以外の			1					
			2					
			3					
			4					

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
ICT教育の推進(学校教育課)	①静岡市立小・中学校の教育情報機器の維持・管理 ②静岡市立小・中学校のネットワーク環境の維持・管理 ③静岡市立小・中学校のホームページの維持・管理	1	1	2,612,976	0	238,517	1.3	0.1	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
小・中学校校務支援システム管理運営事業(学校教育課)	①静岡市立小・中学校校務支援システムの維持・管理	2	1	179,476	0	179,475	1.3	0.1	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
小中一貫校整備事業(教育施設課)	①玉川小・中学校の施設整備に向けた関係機関との協議 ②玉川小・中学校の施設整備工事(施設一体型小中一貫校) ③玉川小・中学校の開校準備(備品運搬、購入等)	2	1	160,600	0	159,520	3.3	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
市立小・中学校適正規模・適正配置の推進(教育総務課)	①両河内地区の小中学校統合に向けた地元協議、住民説明会を実施し、令和4年度に施設一体型小中一貫校として開校することが決定 ②玉川小中学校の令和2年度施設一体型小中一貫校開校に向けた準備 ③足久保学区などその他の地域においても、適正規模化・適正配置に向けた検討を支援	1	1	—	—	—	1.0	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。
 ※達成状況の凡例(◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない)

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	GIGAスクール構想の実現に向け、たくさんのICT端末機器が配備される。校内ネットワーク環境の再整備等、各教室でICTを活用し、一層主体的に学ぶ姿を引き出せる環境整備が求められる。	学校現場で円滑に活用ができるよう、現場の意見を取り入れながら環境整備を行っていく。また、実践事例等について、公開授業や校務支援パソコン等を活用して各学校へ広く普及啓発していく。
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—